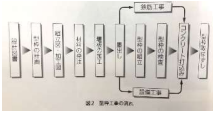
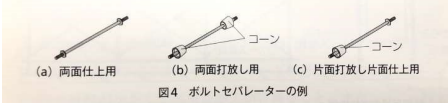
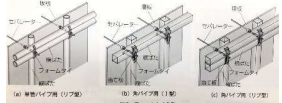
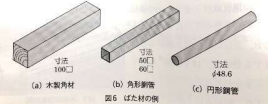



<p>テーマ 鉄筋コンクリート工事 型枠について</p>	<p>ボ イ ン ト</p> <p>①型枠の設計の留意点について ②型枠工事の流れについて ③型枠工事に使用される部材について</p>
<p>結論 型枠工事は建物の躯体を形づくる鋳型である！</p>	
<p>内容等</p>	<p>気づいた点, 疑問点</p>
<p>1. 型枠工事 型枠：鉄筋コンクリート構造の躯体を形づくるための鋳型</p> <p>型枠の設計（留意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート打込み時の自重・側圧・振動・衝撃・に耐えるように設計する ・正しい形状と寸法および位置を正確に保つ ・所定の寸法許容を超えるたわみ、変形などを生じない堅固な仮設構造物 <p>型枠工事の流れ</p>  <p>①型枠の部材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堰板（sheathing board）：コンクリートが直接触れる板 合板が用いられる 取り扱いの注意：コンクリートの硬化不良を防ぐため、長期間、直射日光にさらさないように保管する。 ・締付け金具（binding metal）：堰板の形状を保持するために、型枠をつなぎとめる働きをする部材 セパレーター・・・コンクリートの打込み時に堰板の間隔を保ち、型枠の変形や破壊を防ぐ目的の金物 フォームタイ・・・セパレーターと一体になり、ばた材を介して堰板を両面から締め付けるための部材 ・支保工（timbering）：コンクリートの打込み時の振動に耐え、コンクリートが硬化するまでの期間、その荷重を支える働きをするもの。 ※ばた材・支柱がある。    	<p>まとめ, 考察</p> <p>工業英語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型枠工事 formwork ・鉄筋工事 reinforcing bar work ・コンクリート工事 concrete work ・工程 process of works <p>○側圧について 側圧とは、側面から作用する圧力（荷重）のことで、建築ではフレッシュコンクリートにより型枠に作用する圧力</p> <p>○木材に含まれる硬化阻害成分のリグニン（有機物）や糖類などがコンクリートのアルカリ性と反応し、セメントの水和反応を阻害するために、硬化不良が起こる。 ○直射日光を長時間当てる事でリグニンの抽出量が増加する。 ※保管の方法：ブルーシートなどを被せて保護する。</p> <p>○セパレーターの種類は10数種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H（エイチ：座金） 基礎や地中梁によく使われるタイプ 長さは2分5厘と3分の2つがある。 ・B（Bセパ・丸セパ） 打設後は大きな穴が残るため、モルタル詰めが必要 ・曲げセパ（まげセパ） 勾配のある型枠のために使用 ・スタッドセパレーター（スタッドセパ） 溶接の可能性がある現場で使用されるタイプ
	<p>出展：建築施工 P112, 113, 114（実教出版）</p>